

お知らせ

平成12年3月15日
海洋地球課
海洋科学技術センター

海洋科学技術センターとカナダ漁業海洋省との研究協力覚書（MOU）締結について

海洋科学技術センター（理事長 平野 拓也）は、カナダ漁業海洋省（DFO: Department of Fisheries and Oceans, Canada）との間で、両機関間のMOUを3月20日、カナダ漁業海洋省（オタワ）にて締結することとなりました。

これにより、北極海域の海洋観測に多大な実績を有するカナダ漁業海洋省の研究資源（専門知識、[砕氷船](#)*1など）と、海洋科学技術センターの研究資源（海洋地球研究船「みらい」、氷海用自動観測ブイなど）を用い、日加共同での北極海域の気候システムの解明に大きな成果が期待されます。

* : [資料](#)

* 1 : 氷海域での海洋地球研究船「みらい」による観測を行う際に、DFOから支援を受ける予定船舶 [（別添使用船舶主要目参照）](#)

問い合わせ先： 科学技術庁
海洋地球課 田村、大月
TEL 03-3580-6561
海洋科学技術センター
普及・広報課 他谷、小林
TEL 0468-67-3806

使用船舶主要目

サー・ウイルフレッド・ローリエ号
(Sir Wilfrid Laurier/Light Icebreaker)



CCGS Sir Wilfrid Laurier
Photo: K. MacGregor - CG 979

仕様	砕氷船
所有者	カナダ・沿岸警備隊
運航者	カナダ・沿岸警備隊
就航	1986年11月
排水トン	4662トン
総トン数	3812トン
全長	83m
全幅	16.2m
喫水	6m
定員	27名
最大航行速度	15.5ノット
巡航航行速度	11.0ノット
航続距離	6500マイル(15ノット航行時)
ヘリコプター	1機搭載
基地港	ビクトリア(カナダ・ブリティッシュコロンビア州)
通信	INMARSAT: 001-872-331-605-214(phone & fax)

資料

1. 目的

北極海域の海洋観測に多大な実績を有するカナダ漁業海洋省(DFO: Department of Fisheries and Oceans, Canada)の研究資源(専門知識、砕氷船など)と、海洋科学技術センターの研究資源(「みらい」、氷海用自動観測ブイなど)を用い、日加共同で北極海域の気候システムの解明に取り組むため、両機関間のMOUを締結する。

2 締結

- 1)署名予定日:平成12年3月20日
- 2)署名者:海洋科学技術センター千々谷理事、DFOジョン デイビス局長
- 3)場所:カナダ漁業海洋省(オタワ)

3 研究内容

- 1)北極海の海洋上層200ー300m層の海洋気候変動に関する観測及びモデル研究

- 2)陸棚と海盆間での相互作用に関する物理・化学・生物学的観測及びモデル研究
- 3)ベーリング・チェクチ・ボーフォート海での淡水と化学成分の収支に関する観測研究
- 4)陸棚と海盆での氷厚分布の変動に関する観測及びモデル研究

4 MOUによる効果

- 1)平成12年8月～9月、「みらい」による北極海調査を日加共同で実施（加側研究者の乗船等）。
- 2)氷海域において、「みらい」による観測を行うにあたり、DFOの砕氷船のサポートを受ける。

5 今後の予定

- 1)日加科学技術協力協定下の「北太平洋の環境および地球科学に関するパネル」（日本側議長：地球科学技術推進調整官）において、北極海域の気候変動の解明に向けた両国の新たな活動としてMOUを取り上げる（平成12年5月～6月開催に向け準備中）。
- 2)日加科学技術協力協定の合同委員会（平成12年6月以降に延期）に、パネルから気候変動の解明に向けた両国の新たな活動としてMOUの締結について報告。
- 3)平成12年8月～9月、「みらい」がカナダのヴィクトリアに寄港する機会をとらえ、一般公開および研究セミナーを開催予定。